

「暮らし」分野

政策
3

安心の医療、介護・福祉提供体制の整備

東日本大震災・原子力災害により医療、介護・福祉の提供体制の脆弱化が顕在化し、全県的に人材不足と地域偏在が深刻化しています。特に、避難指示が解除された地域において顕著となっており、人材の確保が課題となっています。

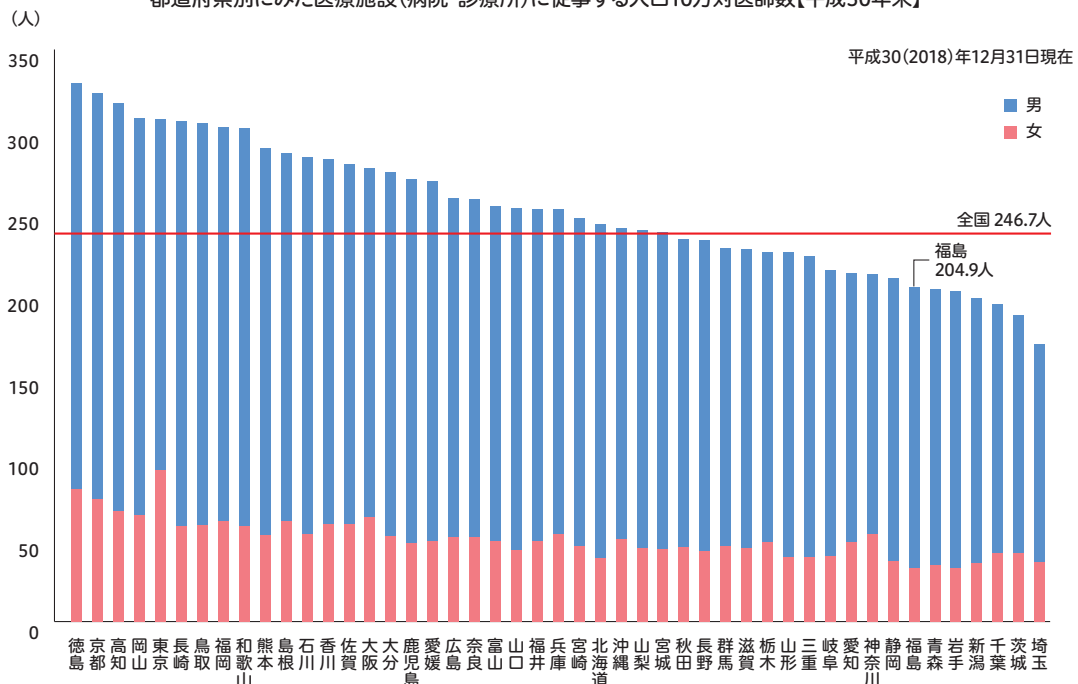
急速な高齢化が進行する中で、高齢者や障がい者が安心して暮らせる介護・福祉サービスの充実など、住み慣れた地域で県民誰もが安心して暮らし続けられるよう、地域住民が支え合い、一人一人の暮らしと生きがい、地域を共に創っていくことのできる「地域共生社会」の実現を目指し、医療、介護・福祉が連携した体制を整備していく必要があります。

また、新型コロナウイルス感染症は、県民生活・経済に大きな影響を与え、医療提供体制にも深刻な影響を及ぼしており、引き続き、感染拡大防止と安定的な医療提供体制の確保を進めるとともに、今後の新たな感染症の発生に対する備えが必要です。



医師の診療

都道府県別にみた医療施設(病院・診療所)に従事する人口10万対医師数【平成30年末】



出典：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」

施策

1

質が高く切れ目のない医療提供体制の構築

地域住民が安心して必要な医療を受けられるよう医療提供体制の充実や医療の質の向上を図っていきます。



【主な取組】

①がん医療・循環器病医療に関する取組

がん診療連携拠点病院の機能強化やがん登録の推進、循環器病（脳卒中や心疾患）に係る医療提供体制の強化に取り組むことなどにより、がん医療・循環器病医療の充実を図ります。

②医薬品の有効性・安全性の確保に関する取組

薬事監視体制の強化、医薬品等苦情相談窓口の設置などにより、医薬品の有効性・安全性の確保を図ります。

③救急医療に関する取組

救命救急センター、休日夜間急患センターの支援や、ドクターヘリの運営の支援などにより、初期救急・二次救急・三次救急医療体制の強化を図ります。また、救急関係機関による協議を行い、傷病者の円滑な搬送及び受入体制の構築に努めます。また、救急業務の一層の高度化を推進するため、メディカルコントロール体制の充実強化に取り組めます。

④献血の普及に関する取組

安定的な血液の確保に向け、献血の普及のため若年層を中心とした啓発を図ります。

施策

2

医療、介護・福祉、地域住民が互いに連携し地域ぐるみで支える体制づくり

県立病院の診療機能の強化やへき地診療所の運営支援、遠隔医療の普及などにより地域医療提供体制の整備を図るとともに、医療、介護・福祉、地域住民が連携した地域包括ケアシステムの構築を支援していきます。



【主な取組】

①地域医療の維持・確保に関する取組

県立病院の診療機能の強化や、医療、介護・福祉、地域住民が連携した地域包括ケアシステムの構築支援を進めるとともに、自治医科大学卒業医師などの配置、へき地診療所の運営支援、在宅医療、CATV、テレビ電話などを活用した在宅健康管理や遠隔医療の普及などにより、地域医療提供体制の整備を図ります。

②地域包括支援センターの機能強化に関する取組

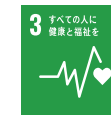
市町村による評価の実施を促進し、地域包括支援センターの機能強化を図ります。

施策

3

高齢者、障がい者が安心して暮らせる介護・福祉提供体制の整備

介護・障がい福祉サービスの基盤整備とサービスの質の向上を図ることにより、高齢者、障がい者が安心して暮らせる体制を整備していきます。



【主な取組】

①介護サービス基盤の整備及び質の向上に関する取組

高齢者人口や介護サービスの需要見込みを踏まえ、施設サービス、居宅サービス、地域密着型サービスをバランスよく組み合わせて計画的に整備を進めます。また、介護給付費の適正化を図るとともに、適正な審査に基づく介護サービス事業者の指定や、利用者に対する介護サービス情報の適切な公表など、介護サービスの質の向上を図ります。

②認知症施策の総合的な推進に関する取組

社会全体で認知症の人やその家族を支えていくため、認知症の正しい知識の更なる普及・啓発や、早期診断、早期対応のために医療従事者の対応力向上研修の強化を図るとともに、認知症疾患医療センターの活動を推進します。

③障がい福祉サービス基盤の整備に関する取組

障がい者やその家族のニーズを的確に把握し、これに応じた、障がい福祉サービス基盤の整備を進めます。

施策

4

医療、介護・福祉の人材確保

全県的な医療、介護・福祉人材の不足に対応するため、人材の確保、育成、定着を図るほか、ロボットやICTを活用した業務効率化を進めていきます。



【主な取組】

①保健医療専門職の確保に関する取組

東日本大震災・原子力災害によって増大・変化した地域保健ニーズに対応するため、保健師・管理栄養士などの保健医療専門職の確保を図ります。

②医師確保、医師の県内への定着に関する取組

医学生に対する修学資金の貸与や医師の県外からの招へいなどにより、医師数の増加を図ります。また、福島県地域医療支援センターにおいて、医師等に対するキャリア形成の取組などを行い、県内定着を促進します。

③介護人材の確保に関する取組

介護人材のイメージアップやマッチング、人材確保、人材育成、人材定着のほか外国人の参入・受入環境整備などに取り組みます。

④看護職員などの確保・離職防止に関する取組

病院内保育所の運営の支援、退職した看護職員の再就業の支援などにより、看護職員の確保と離職防止を図ります。

施策

5

感染症予防の体制強化

各種感染症に迅速かつ的確に対応するため、検査体制、医療提供体制の整備を図るとともに、人材の育成・確保や感染症に関する正しい知識の普及啓発を図っていきます。



【主な取組】

①感染症対策に関する取組

感染症に対し、迅速かつ的確に対応するため、検査体制、医療提供体制の整備や最新の感染症対策に対応できる人材の育成・確保を図ります。また、感染症の予防及びまん延を防止するため、感染症に関する正しい知識の普及啓発や、発生時の調査の実施、まん延防止策の徹底に努めるほか、予防接種や感染症情報などの情報提供に努めます。

②結核対策に関する取組

結核対策として、正しい知識の普及・啓発、早期発見、適正医療の完遂、医療従事者の技術の向上などの対策を推進します。

③新型感染症対策に関する取組

新型インフルエンザや、新型コロナウイルス感染症等の新型感染症対策を図るため、検査体制や医療提供体制の整備を、関係機関と連携を図り推進していきます。



ふたば医療センター附属病院（富岡町）



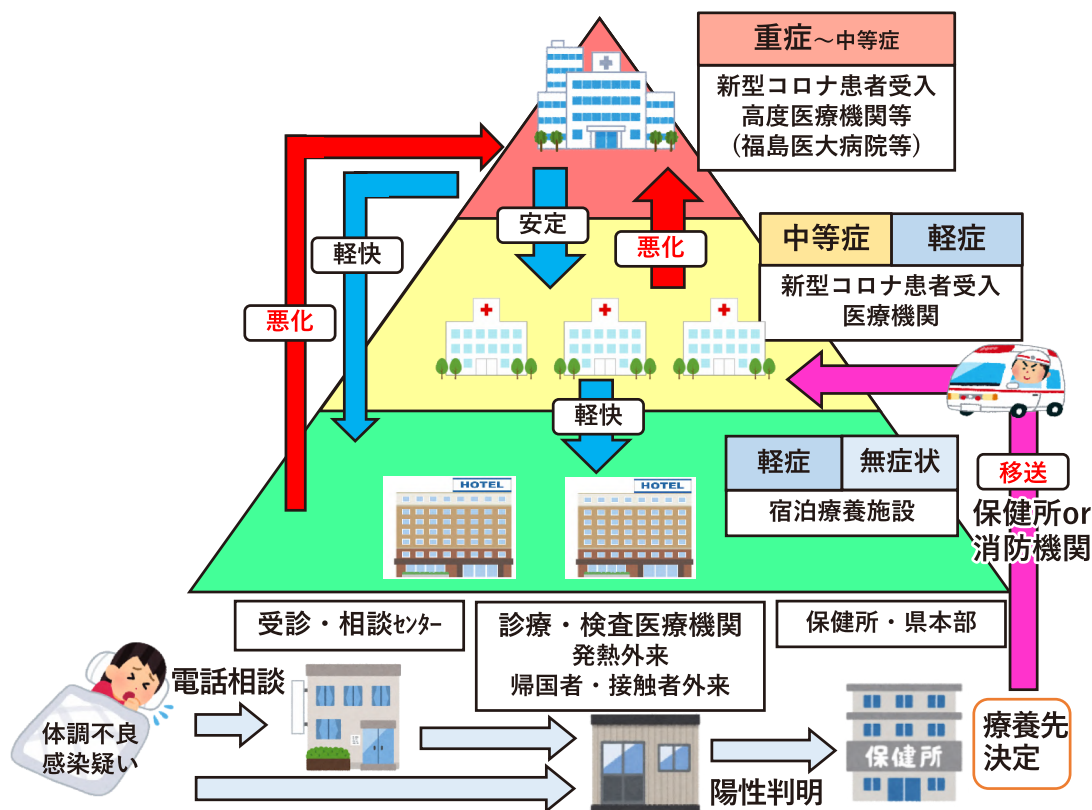
在宅医療の様子



地域包括支援センター（桑折町）



福祉・介護の職場見学会



新型コロナウイルス感染症医療・療養体制

基本指標（成果指標）

< 政策 3 >

| 安心の医療、介護・福祉提供体制の整備 | | | |
|--------------------|--------------------|------------------------|---------------------|
| 医療施設従事医師数（全県） | < 現況値 > < 目標値 > | 3,819 人 ↑ 4,518 人 | (H30 年) (R12 年) |
| 〃（相双医療圏） | < 現況値 > < 目標値 > | 158 人 ↑ 204 人 | (H30 年) (R12 年) |
| 就業看護職員数（全県） | < 現況値 > < 目標値 > | 23,912 人 ↑ 26,469 人 | (H30 年) (R12 年) |
| 〃（相双医療圏） | < 現況値 > < 目標値 > | 1,366 人 ↑ 1,675 人 | (H30 年) (R12 年) |
| 介護職員数 | < 現況値 > < 目標値 > | 32,473 人 ↑ 37,555 人 | (R 元年度) (R12 年度) |

< 施策 >

| 質が高く切れ目のない医療提供体制の構築 | | | |
|--|--------------------|--|---------------------|
| がんの年齢調整死亡率 （全がん・男女計・75歳未満・人口10万対）（再掲） | < 現況値 > < 目標値 > | 71.20 ↓ 57.67 | (R 元年) (R12 年) |
| 脳血管疾患年齢調整死亡率（人口10万対）（再掲） | < 現況値 > < 目標値 > | 男 43.7 女 27.4 ↓ 男 37.8 ↓ 女 21.0 | (H27 年) (R12 年) |
| 心疾患年齢調整死亡率（人口10万対）（再掲） | < 現況値 > < 目標値 > | 男 79.2 女 41.1 ↓ 男 65.4 ↓ 女 34.2 | (H27 年) (R12 年) |
| 献血目標達成率 | < 現況値 > < 目標値 > | 102.8% 100%の維持を目指す | (R2 年度) (R12 年度) |
| 高齢者、障がい者が安心して暮らせる介護・福祉提供体制の整備 | | | |
| 認知症サポーター数 | < 現況値 > < 目標値 > | 210,393 人 ↑ 300,000 人 | (R2 年度) (R12 年度) |
| 市町村地域福祉計画策定率（再掲） | < 現況値 > < 目標値 > | 54.2% ↑ 100% | (R2 年度) (R12 年度) |
| 感染症予防の体制強化 | | | |
| 認定看護師（感染管理）数 | < 現況値 > < 目標値 > | 35 人 ↑ 62 人 | (R3 年度) (R12 年度) |
| 結核罹患率（人口10万対） | < 現況値 > < 目標値 > | 6.94 → 7 | (R 元年) (R12 年) |

補完指標

| (指標名) | (現況値) | | (目標値) | |
|---|-------|---------------|----------------------------------|-------------|
| ◆「質が高く切れ目のない医療提供体制の構築」関連 | | | | |
| ・救急隊員に占める救急救命士有資格者の比率 | R2 年度 | 34.4% | R12 年度 | 49.4% |
| ・身近なところで、必要な医療を受けることができる地域に住んでいると回答した県民の割合 (意識調査) | R3 年度 | 70.9% ※速報値 | R12 年度 | 83.0% 以上 |
| ◆「医療、介護・福祉、地域住民が互いに連携し地域ぐるみで支える体制づくり」関連 | | | | |
| ・県立病院における訪問看護件数 | R2 年度 | 6,322 件 | R12 年度 | 6,800 件 |
| ・地域医療情報ネットワーク (キビタン健康ネット) へのアクセス数 | R2 年度 | 614,775 件 | R12 年度 | 1,015,000 件 |
| ・地域医療情報ネットワーク (キビタン健康ネット) による情報共有に同意した患者件数 | R2 年度 | 46,527 件 | R12 年度 | 159,000 件 |
| ◆「高齢者、障がい者が安心して暮らせる介護・福祉提供体制の整備」関連 | | | | |
| ・特別養護老人ホームの定員数 (整備数) | R3 年度 | 13,451 人 | 数値は毎年度把握し 分析する (目標値は設定しない) | |
| ・地域生活に移行した障がい者数 | R 元年度 | 8 人 | R12 年度 | 増加を 目指す |
| ・家庭や身近な施設で、必要な福祉サービスを受けることができる地域に住んでいると回答した県民の割合 (意識調査) | R3 年度 | 57.8% ※速報値 | R12 年度 | 84.0% 以上 |
| ◆「医療、介護・福祉の人材確保」関連 | | | | |
| ・介護福祉士等修学資金貸付者数 | R2 年度 | 526 人 | R12 年度 | 1,021 人 |
| ・ICT 導入施設数 | R2 年度 | 172 施設 | R12 年度 | 581 施設 |
| ◆「感染症予防の体制強化」関連 | | | | |
| ・麻しん・風しん予防接種率 (1期) | R 元年度 | 95.7% | R12 年度 | 98.0% |
| ・ // (2期) | R 元年度 | 94.8% | R12 年度 | 98.0% |